



【事務局報告】

「ジオ・アドバイザーの情報公開ネット」開設予定のお知らせ

2011年11月19日に実施されました「GUPI事業報告と意見交換会」でご報告した標記情報公開ネットの構築作業はほぼ終了しました。ただ、運用上の細則を決定する作業が残っていますので、それが終了する「4月下旬～5月初旬」には正式開設する予定です。

1. ジオ・アドバイザーとは

- ① ジオ・アドバイザーとは、地質リスク学会、(社)全国地質調査業協会連合会及び(NPO)地質情報整備活用機構による3者協議によって作成された「地質技術顧問制度(ジオ・アドバイザー)運用ガイドライン」に基づいて活動する技術者のことです。
- ② 同ガイドラインでは、ジオ・アドバイザーとは「顧客からの地質・地盤に関する相談や問い合わせに対して専門家の立場で技術的なアドバイスをする技術者」と規定されています。具体的には、GUPI内に設立される「(仮称)ジオ・アドバイザーライセンス認定委員会」の認定を受ける必要があります。
- ③ ジオ・アドバイザーの登録条件は、以下の4条件が全て満たされていることが必要です。
 - ・地質・土質に係る業務の管理者技術者としての実務経験10年以上であること。
 - ・建設部門(土質及び基礎)または応用理学部門(地質)の技術士として登録されていること。
 - ・(NPO)地質情報整備活用機構の個人会員または個人賛助会員であること。
 - ・所属企業の推薦、またはGUPIの会員2名以上の推薦があること。
- ④ ジオ・アドバイザーは、問い合わせ者からのご相談などには以下の3つの形態で対応する予定です。
 - ・ジオ・アドバイザー個人による対応
 - ・ジオ・アドバイザーが所属する企業や法人による対応
 - ・ジオ・アドバイザーグループによる対応
- ⑤ ジオ・アドバイザーが行う主なサービス内容は以下の通りです。
 - ・一般の方からの地質や地盤に係わる質問や問い合わせへの回答
 - ・公共事業などの発注者における地質調査の計画や積算に係わる技術的アドバイス
 - ・地質調査技術と調査結果の解釈に係わる技術的アドバイス
 - ・地質や地盤の評価・診断・結果説明等に係わる技術的アドバイス
 - ・ジオパークなどに係わる技術的アドバイス

2. ジオ・アドバイザーの情報公開ネットとは

ジオ・アドバイザーネットは、インターネットを利用して「ジオ・アドバイザー」を検索するための専用 Web サイトです。

このウェブサイトで公開されるジオ・アドバイザーの情報は以下の通りです。

専門分野，支援内容，支援地域(都道府県)，保有資格，所属学会，CPDH(自己学習記録時間)，住所(都道府県)，業務経歴

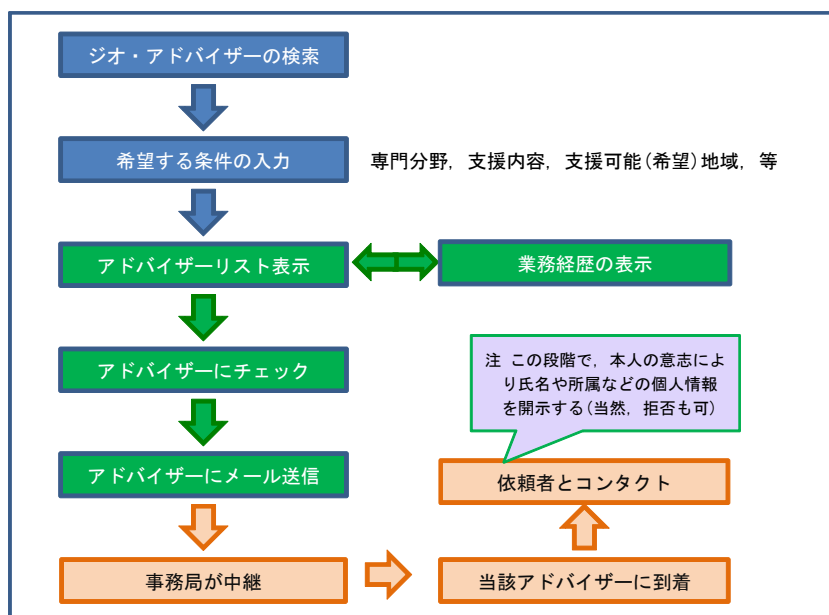
個人を特定できる氏名，所属会社名，詳細住所などは公開しません。具体的な相談事が発生した時に，ジオ・アドバイザーの判断によって相談者に開示して頂きます。

2.1 ジオ・アドバイザーの検索(照会)について

以下は，一般市民等がジオ・アドバイザーを検索する時の画面見本です。



ジオ・アドバイザーネット・トップ画面(イメージ)(試験運用中)



ジオ・アドバイザーの検索と相談確定までのフロー

ジオ・アドバイザーの照会 このネットの使い方 Q&A Home

ジオアドバイザーの照会

1. ジオ・アドバイザーを検索する場合には、以下の「専門分野」、「支援内容」と「支援地域」の各希望欄にチェック(複数可)を付けて、「検索ボタン」をクリックして下さい。
2. チェックボタンは、最低1ヶ所あれば検索できます。

専門分野

建設コンサルタント

土質及び基礎

鋼構造及びコンクリート

都市及び地方計画

河川、砂防及び海岸・海洋

港湾及び空港

電力土木

鹿児島県

沖縄

沖縄県

ジオ・アドバイザーに対する希望条件の入力画面[部分]

検索結果

選択	専門分野	支援内容	支援可能地域	保有資格	所属学会	CPDH (都道府県)	住所	業務件名
<input checked="" type="checkbox"/>	調査・解析・評価：構造物の維持管理のための調査 調査・解析・評価：地盤リスク調査(地震・土砂災害等のハザードマップ) 調査・解析・評価：空洞調査 得意とするコア(要素)技術：得意とするコア(要素)技術：	企画：研究開発・共同研究 開発の企画・支援 教育・指導：要素技術の教	神奈川県	技術士 応用理学部門	日本情報地質学会			共同研究「斜面の崩落の検知センサーと検出システムの開発」 特殊地下壕対策(釜里根原町、宇栄)
<input type="checkbox"/>	建設コンサルタント：土質及び基礎 調査・解析・評価：建築物の地質調査 調査・解析・評価：耐震調査・地震対策調査(液状化含む) 調査・解析・評価：切土構造	発注仕様書作成・核算：地盤工学ベースライン報告書(GER)作成 教育・指導：要素技術の教育・指導 教育・指導：地質・地盤に関する職員の教育	群馬県 東京都	技術士 建設部門 土質及び基礎 技術士 総合技術監理部門 建設部門 土質及び基礎 R.O.C.M. 港湾及び空港部門 APEC Engineer	地盤工学会 土木学会	11545	群馬県	大分57号大野竹田道路地質調査解析業務(総合評価選札) 北海道橋本自動車道 余市小樽地区第二次詳細構造物基礎調査(総合評価案件選札) 大分管内トンネル詳細調査業務(プロポーザル特定) 盛りこぼし橋台盛土の品質管理および変形特性に関する検討(プロポーザル特定) 岡山県地質情報公開システム構築業務委託 平成22年度岡山県地質情報公開システム保守・改良業務 ボーリングデータ編集作業 地下水流動評価のための検証DE整備 全地質・土質のコア写真とカメラ画像と地質判別評価
<input checked="" type="checkbox"/>	調査・解析・評価：山岳トンネルの地質調査 調査・解析・評価：地すべり調査・土砂災害調査 得意とするコア(要素)技術：モニタリング技術・観測技術 得意とするコア(要素)技術：水文調査技術 得意とするコア(要素)技術：地質学的試験	企画：研究開発・共同研究 開発の企画・支援 発注仕様書作成・核算：業務の発注書(設計条件明示等)・核算 施工監理：地盤調査業務 監理	神奈川県 新潟県 山梨県	技術士 応用理学部門 地質	日本応用地質学会 日本地質学会(社)全国地質調査業協会連合会	231	神奈川県	岡山県地質情報公開システム構築業務委託 平成22年度岡山県地質情報公開システム保守・改良業務 ボーリングデータ編集作業 地下水流動評価のための検証DE整備 全地質・土質のコア写真とカメラ画像と地質判別評価

画像に表示されている文字を入力してください

ご入力

迷惑メール対策のために、画像として表示されている文字を入力してから、メールを発信する画面に遷移するシステムとしました。

・業務件名をクリックすると、業務内容を表示します。

ジオ・アドバイザーリストの表示画面[部分]

業務経歴	
発注者	総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 (株)相愛
業務名	地質データを活用したリアルタイム地盤災害予測サービスの実証
業務内容	プロジェクト概要:・リアルタイム地盤災害予測システムの構築 成果の達成状況:・Web-GISサーバー構築: 試用版を構築してインターネットで公開・コンテンツ整備:高知県と高知市のボーリングデータ整備, 3D地盤モデル, 地質断面図・フィールド実証(Web公開) http://www.geonews.jp/kochi/ ・アンケート調査の実施と結果の整理・分析(ニーズ調査含む)・高知地盤災害情報評価委員会を2回実施して, Web公開システム, とコンテンツ類の妥当性の検討とサービス内容などの検証を行った。

業務発注者, 業務名, 業務内容を開示する
ジオ・アドバイザーの業務経歴表示画面

2.2 ジオ・アドバイザーへの登録について

以下は, ジオ・アドバイザーの登録を希望する際の画面見本です。

ジオ・アドバイザー ログイン

ID:

PASSWORD:

ID, Passwordは, ジオ・スクーリングネットと共通です

ジオ・アドバイザー情報の入力

個人情報

姓

名

co.jp

規約の確認

規約に同意する

GUPI会員番号

GUPI会員番号

専門分野

建設コンサルタント

土質及び基礎

鋼構造及びコンクリート

都市及び地方計画

河川, 砂防及び海岸・海洋

港湾及び空港

得意とするコア(要素)技術

ボーリング技術・サンプリング技術

地表地質調査

支援内容

企画

公共事業企画書・提案書作成支援

概略設計書・設計図面の作成支援

地質リスクの評価

沖縄県

ジオ・アドバイザーの情報登録画面[部分]

3. 平成24年度におけるGUPIの活動計画

平成24年度，GUPI内に以下の2つの組織を設立する必要があります。

- ① ジオ・アドバイザーの登録承認を行うための「(仮称) ジオ・アドバイザーライセンス認定委員会」
- ② 「ジオ・アドバイザーグループによる対応」のための中核組織—ジオ・アドバイザーセンター

これに併せ，ジオ・アドバイザーの情報公開ネットの管理運営方法も決定する必要がありますが，可及的速やかに理事会等での協議を終了させ，会員皆様に公開致します。

4. アクセス先

<http://www.web-gis.jp/geoadviser/index.html>

注 本レターの発行時点では「試験運用中」のため，情報の登録はできませんが，登録されている情報の検索と閲覧は可能です。お気づきの点などがありましたら，同公開サイトのメールアドレスまでご連絡くださるようお願いいたします。

【事務局報告】

「GoogleMaps V.3」を利用するボーリング位置検索ツール —GUPI ボアホールマッピングシステム—

24年度賛助会員様にカスタマイズ用マニュアルと部品類を配布

地質図に関する留意点	操作上の留意点	座標の確認
① 地質図：(独)産業技術総合研究所地質調査総合センター発行 20万分の1日本シームレス地質図) 地質図凡例	④ マウスホイールで 地図ズーム 【拡大したい中心点で奥側に回す】	ボーリング位置確認用Webサイト
② 地質図表示範囲：[-]—[+]まで。それ以上は非表示。	⑤ 市街地付近では、ズームを7段 階上げると等高線が表示される	
③ 地質図の表示時：左1回クリックで 産総研の地質説明文を表示		

GoogleMaps(道路地図)上に，産総研地質図とボーリング位置をオーバーレイした例
—GUPI ボアホールマッピングシステム—

このほど、事務局では標記ツールを開発しました。

コピーフリーとして一般に公開する予定ですが、賛助会員様には「カスタマイズ用マニュアル」を配布することになりました。

カスタマイズすることにより、社内専用のボーリングデータベースが無償で構築ができます。GUPI ボアホールマッピングシステムの主な特徴を以下に記載します。

- ① Web-GIS用のAPIとして GoogleMapsAPI V.3 を利用しているため、背景図は一般のGoogle mapの他に地形図と航空写真が利用可能です。
- ② (独法)産業技術総合研究所地質調査総合センターが公開している「20万分の1シームレス地質図」をオーバーレイできます。また、画面のクリックにより、その場所の地質説明文を表示する機能もあります(産総研で開発された機能)。
- ③ ボーリングデータとしてはXML(データ)の他にPDF(イメージ)などを複数組、取り扱うことができます。

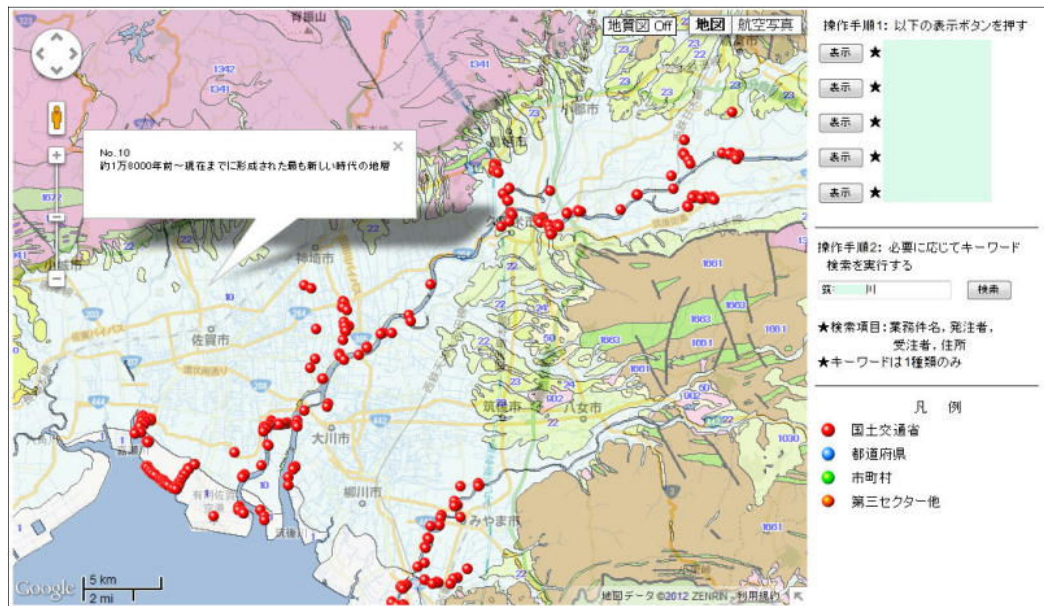


ボーリングマーカーをクリックするとメタデータを表示する(例)
—GUPI ボアホールマッピングシステム—

ボーリング柱状図																		
調査名												地質調査業務		ボーリングNo.				
事業・工事名												シートNo.						
ボーリング名			調査位置			北			東									
発注機関			国土交通省 地方整備局 国道事務所			調査期間			元年0月0日～1988年3月0日									
調査業者名			株式会社			主任技師			現場代理人									
孔口標高			4.55m			角			度									
総掘削長さ			23.00m			方向			ポンプ									
標尺	深	柱	岩	色	硬	割	傾	記	コア採取率	岩	孔内水位	(標準貫入)	試験	室内試験				
高度	度	状	種	目	の	形	状	事	%	級	N)	図	掘				
(m)	(m)	(m)	区	調	軟	状	化	質	%	区	測	定	日	進				
1	3.00	1.55	表土	暗緑					0	50	100	0	10	20	30	40	50	
2	1.96	2.60	有機質土	黄緑														
			泥	黄														
			粘	黄														

ボーリング柱状図(PDF)の表示例

- ④ 「キーワード検索」が可能です。初期設定の検索対象項目は「業務件名」,「発注者」,「受注者」及び「住所」ですが、カスタマイズすることにより自由に増減が可能です。以下は, KuniJiban他から各地のボーリングデータを集めてカスタマイズした「GUPIの内部データベース」で, 検索キーワードに「筑後川河川」と入力した結果(例)です。



キーワード検索結果の例(筑後川河川と入力)

- ⑤ ボーリングのメタデータ(インデックスデータ)と凡例なども自由にカスタマイズできます。ただし, Javaとhtmlに対する知識が必要です。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
ID	ボーリング名称	業務名称	事業者	種別	調査実施者	経度	緯度	掘削点住所	基準	標高	掘進長	開始期日	終了期日	URL	水位
66	K03-0000064	ED 55000	「地先地質調査	国文省	1	13 990	3 728								
67	K03-0000065	ED 55000	「地先地質調査	国文省	1	13 990	3 728								
68	K03-0000066	ED 55000	「地先地質調査	国文省	1	13 990	3 728								
69	K03-0000067	ED 56000	「地先地質調査	国文省	1	13 155	3 199								
70	K03-0000068	ED 56000	「通地質調査	国文省	1	13 905	3 894								
71	K03-0000069	ED 56000	「通地質調査	国文省	1	13 017	3 921								
132	25-0000059	- 011	震診断委託	神奈川県	2	13 000	3 328	区							
133	25-0000060	- 012	建設工事敷地地質調査	神奈川県	2	13 972	3 306	区							
134	25-0000061	- 013	建設工事敷地地質調査	神奈川県	2	13 000	3 389	区							
135	25-0000062	- 014	設予定地(山下町)	神奈川県	2	13 000	3 333	区							
136	25-0000063	- 015	設予定地(山下町)	神奈川県	2	13 000	3 111	区							
137	25-0000064	- 016	平成17年度河川再生工	神奈川県	2	13 567	3 250	区							
138	25-0000065	- 017	平成17年度河川再生工	神奈川県	2	13 566	3 090	区							
166	2501-UUUUU23kohama-	001		横浜市	3	13 310	3 130	横浜市 谷込							
167	2501-0000022kohama-	002		横浜市	3	13 061	3 999	横浜市 谷込							
168	2501-0000023kohama-	001		横浜市	3	13 384	3 915	横浜市							
169	2501-0000024kohama-	028		横浜市	3	13 516	3 848	横浜市							

ボーリングメタデータ(インデックスデータ)の例

- ⑥ 「EXCEL」を起動し, 上図のようにメタデータの部分を入力し, CSVファイルに出力することによって, 比較的簡単にデータベースを構築することができます。

- ⑦ 動作環境と参考速度を以下に例示します。

- ・インターネットに接続さえできれば, 個人パソコンのみでも動作するほか, 社内ネットワークのみでも動作します。もちろん, Webで公開するシステム構築も可能です。
- ・インターネットエクスプローラー(IE)より, Firefoxの方が高速です。例えば, FireFox 11を使用し, 個人PC内に保存した1.5万本のボーリングメタデータにアクセスするという条件の場合, 全マーカーの表示時間が3~4秒間, キーワード検索が1~2秒間です。

平成24年度賛助会員様

カスタマイズ用のマニュアルと配布用部品などの整備に時間を要するため, 配布予定は「4月末」です。改めてご案内いたしますので, しばらくお待ちくださるようお願いいたします。

【事務局報告】**平成23年度第4回理事会 議事録**

期日：平成24年2月22日 15:00～17:30

場所：全地連・会議室

議題：平成23年度活動状況、および平成24年度活動について

出席：松行会長，新藤顧問，中田副会長，藤城副会長，神尾理事，土屋理事，古宇田理事，柴草事務局長，（オブザーバー）池田全地連事務局長

欠席：永野監事

議題1. 第1事業部平成23年度活動状況について、以下の通り報告があった。

- 1) 地質情報ポータルサイトのバージョンアップ
- 2) ボーリング位置座標読み取りサイトのバージョンアップ
- 3) ジオ・アドバイザーネット構築状況
- 4) ユビキタス高知Webサイトの稼働状況

議題2. 平成24年度GUPIの体制と活動計画について、以下の案通り了承された。

- 1) 平成24年度GUPIの運営体制(案)の承認
 - ・第3事業部を設立し、自主的に運営する委員会の管理を担当する。
- 2) 各事業部の活動計画案(案)の承認
 - ・地質情報ポータルサイトのバージョンアップ(案)
 - ・ボーリング位置検索ツール開発と提供の検討(案)
 - ・地盤情報公開用Webサイト構築業務の受注について
- 3) 第3事業部の自主運営委員会に係わる運営規程(案)の承認
 - ・委員会の設立は理事会の承認事項とする
 - ・委員会が複数年度に渡る場合は、年度ごとに中間報告を行う

議題3. 平成平成23年度総会

- 1) 総会日程：平成24年6月2日(土)15:00～
- 2) 総会場所：全地連会議室
- 3) 準備・検討のための理事会日程：平成24年4月25日(水)15:00～

議題4. 1月末経理状況の報告があり、承認された。

【編集後記】

4月からの開設を目標として準備を進めているジオ・アドバイザーネットは、地質リスク学会・全国地質調査業協会連合会との3者による共同事業である「地質技術顧問(ジオ・アドバイザー)」制度の根幹をなすものです。これにより、GUPIの活動の輪がいつそう広がってくれることを期待したいと思います。

タイトルバックの山脈は「中央アルプス」で、羽田→福岡便の機上で撮影しました。